

## ボランティア指導者 育成めざし研修会

天童

ボランティア  
指導者の育成を

図る研修会が27日、天童市の県青年の家で開かれ、参加者が座学やグループワークを通してボランティア活動を活性化させるためのヒントをつかんだ。写真。

県青年の家が企画し、県内各地の教育委員会や社会福祉協議会、青少年サークル



ルから担当者25人が参加。日本ファシリテーション協会中部支部の一木茂さんが「話し合いのスキル」などをテーマに講義を行った。

一木さんは、机や椅子の配置を工夫することで気持ちよく話し合いができることや、「何を、どこまで、どのように話し合うか」を初めに提案して方向付けを行うことの大切さを指摘。

「リーダーには、『やるぞ』と旗を掲げているイメージもあるが、ボランティアの支援者に求められるリーダーシップは後ろから後押しし、下から支えるイメージだ」と伝えた。

事例発表では、大江町教委教育文化課の渡辺哲也さんが、大江中の生徒らでつくるボランティアサークル「夢憧布」の活動を紹介した。

(落合慶)